

【書式例 5-3】

令和 2 年度 指定管理者点検結果

施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井 2 丁目 4464 番地
指 定 期 間	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 31 日 (5 年間)
担 当 部 課	産業振興部農林水産課 電 話 0863-32-5561 E-mail nourinsuisan@city.tamano.lg.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
令和 2 年度は、4 月には全国的にマスクやアルコールが不足する中、生産者の手作りマスクが人気となり、新しい層のお客様が多数来店し、改修した施設の魅力を体感して貰えたことで、その後の客足が大きく伸びる一因となった。 総売上高は、観光客を地元のお客様による巣ごもり需要が大幅に上回る結果となり、総売上高が過去 3 番目の高水準まで大幅に回復し、評価できる結果となった。	S

■「総合評価」の評価基準

- S (優 良) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上であり、かつ S が 2 つ以上である。
- A (良 好) 次の 3 項目の評価結果が全て A 以上である。
- B (課題含) 次の 3 項目の評価結果に B が含まれている。
- C (要改善) 次の 3 項目の評価結果に C が含まれている。

① 業務の実施状況	評価結果
【適切な施設管理の履行】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【法令等の遵守】 各種手続き、書類の整備がなされており良好な状態である。 【安全性の確保】 利用者の安全確保の観点から、施設の修繕等が随時行われているとともに、繁忙期等における警備体制などが確保されており、良好な状態である。 【財産の適切な管理】 施設及び備品等の適切な管理がなされており良好な状態である。 【利用状況】 直売所においては、年間 26 万人を超える利用がある。 (レジ通過者数実績) 令和 2 年度 直売所 268 千人、特産品 106 千人 令和元年度 直売所 255 千人、特産品 100 千人 【コスト削減への方策】 レストラン部分を直営形式から民間事業者への貸出に変更するなど、指定管理者としてのコスト削減に取り組みつつ、施設全体の魅力向上に取り組むなど、様々な取組がなされている。	A
② サービス向上への取り組み	評価結果
生産者（出荷者）と消費者ニーズ等を勘案したサービス向上に取り組んでいる。	S
③ 団体の経営状態（経営の健全性）	評価結果
平成 28 年度に策定した経営改善計画に基づき各種取組を推進した結果、今期の利用者及び事業収入の増加に繋がっており、経営状態が改善され良好となった。	S

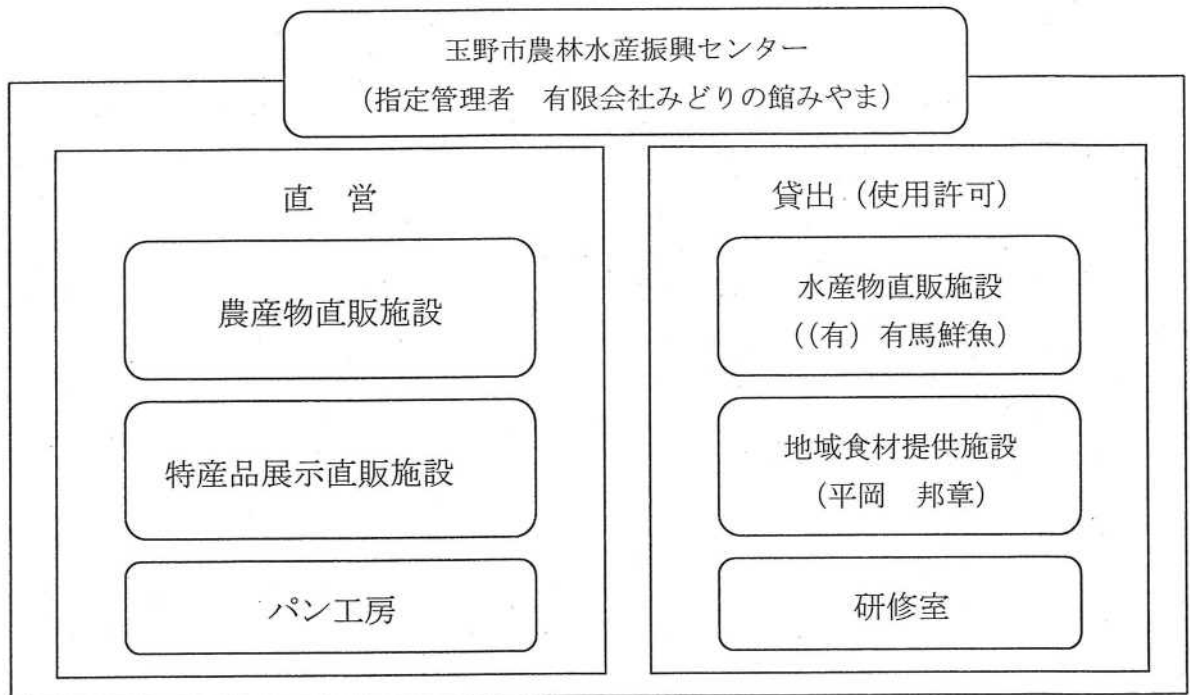
■「評価結果」の評価基準

- S（優良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

I 業務の実施状況に関する事項

1 管理体制の状況

(1) 指定管理業務の実施体制図（外部委託先を含む）



(2) 人員配置状況

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	13	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	5	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	7	
営農指導	常勤職員	1	
計		32	

2 施設・設備の維持管理業務の実施状況

・建物・設備の保守管理業務

施設解錠の日常管理の他、老朽化部分の小修繕を実施

・清掃業務

直営施設は社員による清掃を実施し、使用を許可している施設は使用者が清掃を実施

・警備業務

夜間・休日の警備を警備会社に委託して実施しているほか、イベント開催や繁忙期の周辺警備を随時委託実施

3 利用等の許可の状況

水産物直販施設	鮮魚販売者に対して単年度の使用を許可
地域食材提供施設	利用希望者に対して単年度の使用を許可
研修室	研修室利用希望者に対して随時使用を許可

II 施設の利用状況に関する事項

1 施設・設備の利用状況

水産物直販施設	使用許可	1件（（有）有馬鮮魚）
地域食材提供施設	使用許可	1件（平岡 邦章）
研修室	使用許可	42件（農業者団体、視察対応、市農林水産課他）

III 自主企画事業の実施に関する事項（協定書に追加した事項等）

1 イベント名、内容、参加者数、収支状況 等

新型コロナウイルスの影響により全て中止

IV 料金収入の実績及び管理経費等の収支状況等

1 利用料金の収入及び減免の状況

（1）利用料金の収入総額、各施設、設備ごとの収入額 等

研修室使用料	91,500 円
水産物直販施設	4,621,280 円（400,000 円×10 月＋334,880 円＋286,400 円）
地域食材提供施設	2,488,530 円（220,000 円×10 月＋154,880 円＋133,650 円）

（2）減免の総額、各施設・設備ごとの内訳、減免理由 等

研修室使用料	32,000 円（自主事業、玉野市の公共使用等のため）
--------	-----------------------------

2 管理に係る収支の状況

別途添付の経営状況説明書のとおり

V 自己点検結果

施設利用者や、農産物直販施設の出荷登録農家への聞き取りを行うほか、関係機関からの意見聴取など、幅広く改善意見等の把握に努めている。

VI 経費節減・サービス向上に関する取組み

水産物直販施設を改修して、直営のパン工房を開店し、新規顧客獲得を行った。従業員教育を推進し、接客マナー向上に努めた。

VII その他

第 23 期

経 営 状 況 説 明 書

内 容

1. 令和 2 年度決算の状況
2. 令和 3 年度事業計画の概要

有限会社みどりの館みやま

令和 2 年度

決 算 の 状 況

目 次

I.	令和2年度 事業報告書	-----	3
II.	令和2年度 決算書		
(1)	貸借対照表	-----	5
(2)	損益計算書	-----	6
(3)	販売費及び一般管理費	-----	7
(4)	製造原価報告書	-----	8
(5)	監査報告書	-----	9

I. 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

1 事業実施状況

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響による臨時休業を、特産品売場とパン工房・みやまのカフェ食堂は4月22日から5月6日までの15日間、農水産物直売所は4月28日から5月6日までの9日間実施した。休業期間中は、特に農産物出荷者へ大きな負担をかけることとなった。

4月は全国的にマスクやアルコールが不足する中、生産者の手作りマスクが人気となり、近隣にお住まいの新しい層のお客様が多数来店した。改修した施設の魅力を体感して貰えたことは、その後の客足が大きく伸びる一因となった。

例年11月23日に開催していた道の駅みやま公園まつりは、コロナ過と消防署の移転に伴う園内駐車場200台減の影響により、昨年度をもって中止することとした。

令和2年度の総売上額は、447,934千円(対前年度比+62,967千円、116.3%)で、観光客の減少を地元のお客様による巣ごもり需要が大幅に上回る結果となった。当期は2,248千円の営業黒字を計上し、総売上高が過去3番目の高水準まで大幅に回復したことにより、経常利益は6,144千円となった。

(1) 農産物直販施設

出荷者数、来店客数共に好調で、農産物の出荷量も順調に増えており、巣ごもり需要と相まって、売上高が伸びた。また新たな出荷者として30人が登録した。

売上額：304,322千円(対前年度比 36,955千円 113.8%)

来客数：268,775人(対前年度比 13,084人 105.1%)

登録者数：381人(対前年度比 30人 108.5%)

(2) 特産品展示直売施設

来客数の増加に伴い新規登録希望者が増えた。また令和2年度は、手作りマスクの販売希望者が急増したため、新規登録者は20名となった。

売上額：94,179千円(対前年度比 3,149千円、103.4%)

来客数：106,293人(対前年度比 5,296人、105.2%)

登録者数：101人(対前年度比 16人、118.8%)

(3) パン工房

令和元年度10月新規開店だったため、令和2年度は営業日数が半期分多い。メディア露出も多く、リピーターも増えて営業は概ね好調であった。

売上額：49,433千円(対前年度比 22,316千円、182.3%)

来客数：71,369人(対前年度比 29,161人、169.1%)

(4) 研修室

生産者の栽培技術や知識向上のため、たまの楽農塾(6名)と合同で野菜・花・果樹等の栽培指導を備前広域農業普及指導センターの協力により講習会を5回開催(8回予定)し、延べ88人が参加した。新型コロナウイルスの影響で、人数制限をしての開催や中止にしたため、例年より参加者数が少なかった。

【参 考】

(1) 水産物直販施設

新鮮な瀬戸内の鮮魚や焼きアナゴが手軽に手に入ると好評であった。4、5月は臨時休業の影響で前年比 85%と苦戦したが、その後は直売所同様に来店客の増加を受け前年度比 109.6%と売上を大きく伸ばした。

売 上 額：163,257 千円 （対前年度比 10,764 千円、107.1%）

(2) 地域食材提供施設

特産品売場と同様 4 月 22 日から 5 月 6 日まで休業した影響で 4、5 月は前年度比 50%だったが、6 月以降は売上が大きく回復した。

売 上 額：36,449 千円 （対前年度比 -428 千円、98.8%）

来 客 数：19,589 人 （対前年度比 -191 人、99.0%）

2 役員に関する事項

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

就任年月日	役員名	氏 名	備 考
H30. 4. 1	代表取締役	山 上 誠 二	
H19. 7. 13	取 締 役	岡 本 英 俊	
H28. 9. 1	取 締 役	金 川 洋 一	支配人
H23. 6. 1	監 査 役	谷 貢	

3 法人登記に関する事項

なし

4 職員に関する事項

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

職 種	勤務形態	人数	備 考
支配人	常勤職員	1	取締役
農産物直販施設	常勤職員	3	
	パート	13	
特産品展示直売施設	常勤職員	1	
	パート	5	
パン工房	常勤職員	1	
	パート	7	
営農指導	常勤職員	1	
計		32	

Ⅱ. 令和2年度決算書

(1) 貸借対照表

令和3年3月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
【流 動 資 産】	【 78,799,068 】	【流 動 負 債】	【 43,036,737 】
現金及び預金	67,331,239	買 掛 金	3,243,618
売 掛 金	2,294,620	未 払 金	23,080,727
商 品	2,159,966	預 り 金	13,279,992
原 材 料	1,508,011	法人税等充当金	3,301,400
貯 蔵 品	2,931,324	商 品 券	60,000
立 替 金	170,000	未払法人税等	71,000
未 収 入 金	2,403,908		
【固 定 資 産】	【 69,016,973 】	【固 定 負 債】	【 1,500,000 】
(有形固定資産)	(67,666,973)	退職給与引当金	1,500,000
建 物	22,743,961		
建物付属設備	39,209,072	負債の部合計	44,536,737
構 築 物	445,483	純 資 産 の 部	
車両運搬具	2	【株 主 資 本】	【 103,279,304 】
設備造作	0	(資 本 金)	(3,000,000)
工具器具備品	5,268,455	資 本 金	3,000,000
(投資その他の資産)	(1,350,000)	(利益剰余金)	(100,279,304)
出 資 金	50,000	利 益 準 備 金	1,500,000
保 証 金	1,300,000	別 途 積 立 金	18,700,000
		施設整備積立金	34,500,000
		繰越利益剰余金	45,579,304
		純資産の部合計	103,279,304
資産の部合計	147,816,041	負債及び純資産の部合計	147,816,041

(2) 損益計算書

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

科 目	金 額	円
(経常損益の部)		
(営業損益の部)		
【純売上高】		
商品売上高	109,114,282	
売上高(パン工房)	45,771,378	
販売委託料	42,374,210	
販売手数料	3,584,677	
受取管理料	6,463,471	
登録・会費収入	1,139,114	208,447,132
【売上原価】		
期首棚卸高	2,740,210	
商品仕入高	76,112,439	
当期製品製造原価	45,187,784	
合 計	(124,040,433)	
期末棚卸額	2,159,966	121,880,467
売上総利益		(86,566,665)
【販売費及び一般管理費】		84,317,986
営業利益		(2,248,679)
(営業外損益の部)		
【営業外収益】		
受取利息	128	
道の駅清掃委託金	741,000	
急速充電器管理委託料	360,000	
雑収入	4,690,128	5,791,256
【営業外費用】		
営業外収入関係費用	1,722,889	
たまの楽農塾	60,298	
固定資産除却損	112,502	1,895,689
経常利益		(6,144,246)
税引前当期純利益		(6,144,246)
法人税等		71,000
当期純利益		(6,073,246)

(3) 販売費及び一般管理費

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

科 目	金 額	
役 員 報 酬	32, 500	円
給 料 手 当	35, 234, 356	
賞 与	7, 485, 130	
雑 給	172, 838	
支 払 報 酬 料	1, 767, 000	
法 定 福 利 費	4, 904, 841	
厚 生 費	1, 245, 407	
減 価 償 却 費	5, 955, 790	
賃 借 料	2, 864	
修 繕 費	2, 168, 344	
事 務 用 品 費	208, 441	
消 耗 品 費	4, 581, 819	
水 道 光 熱 費	2, 899, 404	
旅 費 交 通 費	44, 844	
支 払 手 数 料	831, 925	
租 税 公 課	227, 518	
交 際 接 待 費	0	
保 険 料	327, 163	
通 信 費	330, 082	
諸 会 費	79, 475	
広 告 宣 伝 費	464, 365	
新 聞 図 書 費	88, 653	
荷 造 運 賃	411, 698	
会 議 費	0	
清 掃 委 託 費	109, 092	
車 輛 費	170, 602	
研 修 会 費	0	
管 理 諸 費	2, 136, 080	
雑 費	164, 417	
リ ー ス 料	5, 296, 565	
備 品 費	1, 777, 676	
地 代 家 賃	5, 199, 097	
合 計	(84, 317, 986)	

(4) 製造原価報告書

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月31日

科 目	金 額	
【材 料 費】		円
期首原材料棚卸高	1, 009, 525	
原 材 料 仕 入 高	22, 428, 394	
小 計	(23, 437, 919)	
期末原材料棚卸高	1, 508, 011	21, 929, 908
【労 務 費】		
賃 金	12, 745, 789	
賞 与	1, 072, 400	
法 定 福 利 費	1, 377, 813	
厚 生 費	186, 619	15, 382, 621
【製 造 経 費】		
水 道 光 熱 費	1, 240, 121	
消 耗 品 費	1, 246, 288	
旅 費 交 通 費	0	
減 価 償 却 費	416, 708	
修 繕 費	262, 000	
車 両 費	1, 582	
保 險 料	83, 008	
備 品 費	313, 531	
事 務 用 品 費	0	
リ ー ス 料	3, 699, 642	
管 理 諸 費	244, 920	
諸 会 費	360, 000	
広 告 宣 伝 費	7, 455	7, 875, 255
総 製 造 費 用		(45, 187, 784)
当期製品製造原価		(45, 187, 784)

監 査 報 告 書

令和3年5月17日

有限会社みどりの館みやま
代表取締役 山上 誠二 殿

監査役 谷 貢 ㊟

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの、第23期営業年度における取締役の職務執行を監査するため、取締役会及びその他の重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聞き、重要な決裁書類等を閲覧し、実査、立会、照合を行い、会計帳簿等につき検討を加えた結果、次のとおり報告する。

1. 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表及び損益計算書の記載と合致していることを認める。
2. 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認める。
3. 事業報告の内容は、真実であると認める。
4. 取締役の業務遂行に関する不正の行為、または法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上

令和 3 年度

事業計画の概要

目 次

I.	令和3年度事業計画書	-----	12
II.	令和3年度予算書	-----	13
	販売費及び一般管理費内訳	-----	14
	製造原価報告書内訳	-----	15

I. 令和3年度事業計画書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

今年度は、コロナ自粛が続く中、集客に関わる情報発信を今暫く制限しながら、従来の消毒・注意喚起・マスク着用など安全対策に万全を期して粛々と営業を継続する。桜の開花が異常に早く4月初めには散ったにもかかわらず、春の陽気と自粛疲れも伴い、多くの来客があった。

今年度も出荷者向け先進地視察や意見交換会は自粛予定で、各種イベントもコロナが落ち着くまでは差し控える。

従来から委託業務で行っていた情報コーナー及びトイレの清掃業務に加えて、施設周辺の清掃業務を強化するために、4月から清掃専門スタッフを雇用する。これにより弊社の負担は増えるが、道の駅周辺の更なる魅力向上を図る。

1. 農産物直販施設

現在、農産物の売れ行きは好調であり、出荷者・数量共に増加しており、十分な供給が来ているので、これを継続する。従業員の定着率も上昇しているので、持続的に出荷者・購入者双方に魅力的なサービスを提供する直売所を目指す。

市場からの商品は、岡山県産にこだわった仕入を行い、購買者の機会損失を作らないよう配慮する。

2. 特産品展示販売施設

玉野市産の特産品PRを積極的に継続しつつ、お客様目線でここでしか手に入らないモノを増やす商品陳列を推進する。

屋外ブース駅前マルシェは、玉野市の事業者による玉野産原材料を使用した商品や、ここに来ないと味わえないモノを提供しており、お客様に好評である。

3. パン工房

焼きたてパンのテイクアウトはお客様の支持を集めており、玉野産朝日米を使った米粉食パンに続く、玉野市産原材料を使った新商品を開発する。当初より大幅に売上が伸びているので、従業員数や仕入など現状に沿った事業計画を作成する。

4. 研修室

生産者に好評の野菜・花・果樹の栽培管理講習会を8回開催する予定である。施設設備・備品の老朽化が目立ってきており、更新が必要な時期だが、直接利益を生まない施設なので設備投資が難しいのが実情である。

【参考】

・水産物直販施設

名物の「焼きアナゴ」をメインに、地元の新鮮で安価な魚介類や、その加工品を提供し、より一層親しみやすい売り場にする。テナントには衛生面での責任意識を持たせ、今後も施設管理者として指導を徹底する。

・地域食材提供施設

看板メニュー（ここに来ないと食べられない料理）開発を引き続き要請していく。玉野市農林水産振興センター内の施設として自覚を持った経営をするよう指導する。

Ⅱ. 令和3年度予算書

自 令和3年 4月 1日
至 令和4年 3月31日

科 目	予算額	前年度予算額
(経常損益の部)		千円
(営業損益の部)		
【純売上高】	(215,360)	(212,260)
商品売上高	112,000	115,000
売上高(パン工房)	50,000	50,000
販売委託料	42,000	36,000
販売手数料	3,500	3,500
受取管理料	6,760	6,760
登録・会費収入	1,100	1,000
【売上原価】	(124,520)	(125,900)
期首棚卸高	2,159	2,740
商品仕入高	77,000	77,000
製品製造原価	47,520	48,900
合 計	126,679	128,640
期末棚卸額	2,159	2,740
売上総利益	90,840	86,360
【販売費及び一般管理費】	87,775	84,730
営業利益	3,065	1,630
(営業外損益の部)		
【営業外収益】	(3,101)	(3,016)
受取利息	0	0
道の駅清掃委託金	741	656
急速充電器管理委託料	360	360
雑 収 入	2,000	2,000
【営業外費用】	(2,600)	(2,100)
営業外収入関係費用	2,500	2,000
たまの楽農塾	100	100
経常利益	3,566	2,546

令和3年度 販売費及び一般管理費内訳 予算

単位：千円

科 目	予 算 額	前年度予算額
役員報酬	50	45
給料手当	37,000	38,000
賞与	8,000	6,000
雑給	100	100
支払報酬料	1,800	1,800
法定福利費	5,200	5,000
厚生費	1,500	1,500
減価償却費	6,000	6,500
賃借料	50	500
修繕費	2,000	1,000
事務用品費	400	400
消耗品費	4,500	4,000
水道光熱費	3,200	3,500
旅費交通費	200	200
支払手数料	1,000	500
租税公課	250	200
交際接待費	30	30
保険料	360	360
通信費	330	300
諸会費	200	200
広告宣伝費	300	300
新聞図書費	90	80
荷造運賃	400	400
会議費	15	15
清掃委託費	150	150
車輛費	300	300
研修会費	300	300
管理諸費	2,000	2,000
雑費	100	100
リース料	5,500	5,100
備品費	1,000	400
地代家賃	5,450	5,450
合 計	87,775	84,730

※科目間の流用を認める

令和3年度 製造原価報告書内訳 予算

科 目	予算額	前年度予算額
		千円
【材 料 費】	(22,000)	(24,000)
期首原材料棚卸高	1,508	1,009
原 材 料 仕 入 高	22,000	24,000
小 計	23,508	25,009
期末原材料棚卸高	1,508	1,009
【労 務 費】	(16,600)	(15,600)
賃 金	13,500	13,000
賞 与	1,200	800
法 定 福 利 費	1,600	1,500
厚 生 費	300	300
【製 造 経 費】	(8,920)	(9,300)
水 道 光 熱 費	1,200	1,200
消 耗 品 費	1,200	900
旅 費 交 通 費	50	50
減 価 償 却 費	400	150
修 繕 費	200	100
車 両 費	10	50
保 険 料	100	0
研 修 会 費	50	50
備 品 費	1,000	2,000
事 務 用 品 費	50	50
リ ー ス 料	4,000	4,200
管 理 諸 費	250	200
諸 会 費	360	300
広 告 宣 伝 費	50	50
合 計	47,520	48,900

【書式例 5-4】

令和2年度 指定管理者自己点検結果

点 検 日	令和3年 3月 1日
施 設 名	玉野市農林水産振興センター
所 在 地	玉野市田井2丁目4464番地
指 定 管 理 者	名 称 有限会社みどりの館みやま 代表者 代表取締役 山上 誠二 住 所 玉野市田井2丁目4464番地
指 定 期 間	平成31年4月1日 ～ 令和5年3月31日（5年間）
担 当	電 話 0863-32-0115 E-mail miyama@m-y.jp

評 価 内 容 の 総 括	総 合 評 価
5カ年の指定管理2年目である今年度は、新型コロナウイルスの影響により4月22日から5月6日まで玉野市の要請により時短営業や臨時休業を実施した。同じ時期に、生産者の手作りマスクが人気となり、近隣にお住まいの新しい客層のお客様が多数来店した。 その後も、観光客の減少を地元のお客様による巣ごもり需要が大幅に上回る結果となり、総売上高は過去3番目の高水準まで大幅に回復した。	A

■「総合評価」の評価基準

- S（優 良） 次の3項目の評価結果が全てA以上であり、かつSが2つ以上である。
- A（良 好） 次の3項目の評価結果が全てA以上である。
- B（課題含） 次の3項目の評価結果にBが含まれている。
- C（要改善） 次の3項目の評価結果にCが含まれている。

① 業 務 の 実 施 状 況	評 価 結 果
【適切な施設管理の履行】 規定に基づく施設管理を行い、施設内の整理整頓や清掃を徹底した。 【法令等の遵守】 必要な許可の取得や免許の更新見直しを行い、法蓮遵守に努めた。 【安全性の確保】 施設内の定期的な巡回を行い、保守点検をし、必要に応じて小修繕を行った。 24時間防犯カメラの増設や、夜間警備の契約をして、万引き防止に努め施設内の警備を強化した。 【財産の適切な管理】 施設内備品の適切な使用や保守管理を行った。 【利用状況】 巣ごもり需要にマッチして、利用者は増加している 【コスト削減への方策】 人事評価制度を導入して、昇級や賞与の基準を明確にしたことで、従業員の働き方に対する考え方を指導した。	A
② サ ー ビ ス 向 上 へ の 取 り 組 み	評 価 結 果
バリアフリー化を実施し、施設全体の魅力向上に務めた。法令に則ったレジ袋の無償提供を実施している。	A
③ 団 体 の 経 営 状 態 （ 経 営 の 健 全 性 ）	評 価 結 果
施設の魅力向上効果による売上高の大幅増加により、経営状況は安定した。	S

■ 「評価結果」の評価基準

- S（優 良） 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。
- A（良 好） 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。
- B（課題含） 協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。
- C（要改善） 協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。